

令和5年8月9日

関係各位

独立行政法人 日本学術振興会

日本学術振興会が利用しているファイル転送サービス（Proself）
への不正アクセスについて

平素より、本会への御理解、御協力をいただき誠にありがとうございます。

今般、独立行政法人日本学術振興会がファイル転送サービスとして利用していたサービス（Proself）について、不正アクセスが行われたことが判明しました。これは、去る7月20日に発表されたProselfの脆弱性を原因とするものであると考えられます。

これを受けて、サービス開発業者による調査を行った結果、Proselfに保存されている情報の流出や不正アップロードが行われた痕跡は確認されていません。また、現在までのところ、今回の不正アクセスに起因すると思われる被害（二次被害を含む）は確認されていません。

なお、7月31日において脆弱性が解消されたProselfを新たな別サーバに再インストールし、運用を再開しております。

関係する皆様には御心配をおかけすることになり、お詫び申し上げます。日本学術振興会では、今後とも関係機関等とも連携しながら、引き続きセキュリティ対策の強化に努めてまいります。

今回の事案の経緯及び講じた措置は以下のとおりです。

7月27日	本会利用のサービスに不正アクセスが行われた旨、サービス開発業者から報告あり。 当該サービスを停止。
7月28日	新サーバへのデータ移行を実施。 すべての保存ファイルにウイルススキャンを開始。
7月29日	すべての保存ファイルにウイルス感染がなかったことを確認。
7月31日	脆弱性が解消されたProselfを新たな別サーバに再インストール。 運用を再開。

8月7日	Proself に保存されている情報の流出や不正アップロードが行われた痕跡は確認されていないことをサービス開発業者から報告。
------	--

【本件お問合せ先】

独立行政法人 日本学術振興会

総務部総務課情報システム室

メールアドレス：syskan_アットマーク_ml.jsps.go.jp（左記ではスパムメール対策のため「_アットマーク_」としておりますが、メール送信の際は、「_アットマーク_」を「@」に置き換えて御送信をお願いいたします）